

平成6年度 和歌山県文化功労賞

ありもと ひろし
有本 弘

住 所：和歌山県日高郡日高町

出 身 地：和歌山県有田郡湯浅町

生 年：昭和6年

◎業績及び経歴

昭和24年和歌山師範学校在学中に県展初入選、以後和歌山大学教育学部在学中の昭和26年関西新制作展に入選したのを契機に、昭和30年には関西独立展に初入選するなど、その豊かな才能は早くから認められていた。

大学卒業後も、和歌山県立日高高校で教鞭をとる傍ら、洋画の創作活動に意欲的に取り組み、昭和36年には独立美術協会会友に推挙された。その後も、独立展に出品、入選を重ね、関西独立賞、独立展奨励賞を受賞された。

具象から出発した絵は、昭和40年頃から抽象画へと変貌する。鋭い直線が特徴の対象構図だが、日本画の平筆で丁寧に仕上げるといふ独自の方法により作品からは微妙な柔らかささえ感じられる。

昭和45年には独立賞受賞、翌46年には現代日本美術に出品、この年から県展の審査員として指導的役割を果たしている。

さらに、昭和47年には独立賞及び児島善三郎記念賞で首席賞を受け、翌48年には独立美術協会会員となる。

和歌山県ではこれらの功績に対して、昭和57年に和歌山県文化奨励賞をお贈りしている。

また、昭和62年には県文化創出モデル事業で県立体育館玄関ポーチフロアーデザインを、翌63年及び平成元年には県体力開発センタータイル壁画、室内プール、廊下タイル壁画の原図制作を手がけられ、施設を訪れる県民の心を和ませてくれている。

平成4年教職を退いて後は、後進の指導をはじめ

めとし、郷土美術文化の振興に尽くされている。

■現在

和歌山県美術家協会洋画部長、理事

和歌山県展洋画部門代表審査員

■主な表彰歴

昭和24年 県展初入選

昭和26年 関西新制作展入選

昭和30年 関西独立展奨励賞、独立展初入選

昭和36年 関西独立賞、独立展奨励賞

昭和45年 独立賞

昭和47年 独立賞、児島善三郎記念賞(首席賞)

昭和57年 和歌山県文化奨励賞

昭和61年 御坊市文化賞